







「特別支援学級の学級経営- 教育課程と授業づくり」

日時	平成29年8月21日(月)	受講者	25名
目的	特別支援学級の教育課程や授業づくりなどの学級経営を取り巻く基礎的な事項について、講義や協議を通じた研修を行い、実践力の向上を図る。		
講義	1 「特別支援学級の学級経営」	特別支援教育センター 指導主事	渡部 和幸
講義2・演習	「特別支援学級の授業づくり」	特別支援教育センター 指導主事	今泉 祥子
協議	「特別支援学級の学級経営における課題」	特別支援教育センター 指導主事	今泉 祥子
		特別支援教育センター 指導主事	富村 和哉
		特別支援教育センター 指導主事	渡部 和幸
		特別支援教育センター 統括特別支援教育コーディネーター	内藤 裕美
<p><講義1> 「特別支援学級の学級経営」</p> <p>事前提出していただいた先生方の「課題」に応える講義内容を準備し、教育課程の理解を主とした学級経営の基礎的事項を確認しました。また、学校全体の共通理解を大切にしたい校内支援体制の在り方や、ライフステージを考える進路情報等についての理解を深めていただきました。</p>  <ol style="list-style-type: none"> 1. 教育課程等について 2. 学級経営について 3. 校内支援体制について 4. 進路について 	<p><講義2・演習> 「特別支援学級の授業づくり」</p> <p>授業づくりにおいて欠かせない指導のポイントを「見抜く目」を磨くため、小グループに分かれて「必要な力」を細かく砕く演習を行いました。また、学年や特性等に大きな差のある学級の授業における「ずらし」と「わたり」を検討するため、学級のアセスメントを行って整理していただきました。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業のねらいの明確化～「見抜く目」「考え抜く目」～ 2. 学級のアセスメント ～教室環境と配置～ ～「わたり」と「ずらし～」 3. 自立活動 		
<p><協議></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 協議の進め方 2. アセスメントシートを使って <p>学級の子どもの実態をアセスメントシートに数値化し、2学期に予定している授業について、4～5人の協議グループで子ども達の強みを生かした授業づくりを検討しました。改めて学級の子どもの実態を数値化して考えると、「わたり」の偏りに気付いたり、一人学習を成立させるためのアイデアを出し合うことで悩みが解決したり、授業の流れの中で、全体指導と個別指導の順番の工夫や、子どもの良さを生かすタイミングについて、子どもの思いを大切にしながら授業づくりをしたりする方法を学び合いました。</p>    	<p style="text-align: center;">受講者の感想</p> <p>○とても勉強になりました。たくさんのヒントを頂いて、2学期頑張れそうです。(小学校)</p> <p>○悩んでいることがテーマになっていたの、すぐ学習活動へ生かすことができると思った。(小学校)</p> <p>○子ども一人一人を見つめる見抜く目・考え抜く目について知ったこと、具体的に考えたことが役立った。(小学校)</p> <p>○アセスメントシートの活用が参考になりました。(小学校)</p> <p>○現場の視点からご指導ただけて、大変参考になった。(小学校)</p> <p>○講義内容がとても参考になることばかりでした。時間があつという間でもっとお聞きしたかったです。(中学校)</p>		

○お互いに話し合う時間が多く、解決につながった。話しやすいグループ編成だった。(中学校)